

演 題 名	自然卵養鶏場におけるサルモネラ汚染防止に向けた取り組み		
発 表 者 氏 名	高 山 省 三	所 属	伊 那 家 畜 保 健 衛 生 所
<p>近年、自然食品人気の高まりから自然卵養鶏場の鶏卵が宅配や店頭で販売される例が増えている。しかし、鶏卵やその加工品は、サルモネラ食中毒の主な原因食品の一つであり、養鶏場での対策が求められている。管内の自然卵養鶏場は現在6戸であり、検査依頼は平成10年1戸（延べ3回）であったが、平成12年4戸（延べ13回）と増えている。しかし、依頼は鶏卵および鶏舎環境の検査であり、養鶏場へのサルモネラの侵入を防止する対策ではなかった。そこで、雛の導入から卵の生産まで一貫した対策の必要性を指導してきた。その結果、各養鶏場の意識も高まり、A農場から積極的な取り組みを相談され、雛導入時の検査など、具体的な対策を示し指導した。このように規模の小さい養鶏場では、意欲があっても施設や労力の点で取り組みが困難な場合も多く、生産物の安全確保のため、家保の果たす役割は大きいと考える。</p>			